

林檎

岩手Mac友の会

Vol.4, No.1 1992.2.15

Iwate Macintosh Funclub



注目！

FSKI Macintosh Users Group
HA-MUG
Iwate Macintosh Fun Club
Karakaze Mac User Group
Kusiro Fishermans Mouse
Macintosh Aided Designer's Party
Macintosh Akita Communication Club
Mac in Fukuoka
Macintosh Oita Software Research Association

Special Thanks
NIFTY-Serve MAUG-J
Nikkei mix Mac group

RECOMMENDED DISC

Produced by
Apple Computer Japan, Inc.

ラベル上の
Commune
のロゴは
日本の
User's Group を表す
シンボル・マーク
です。

日本初の
ユーザーグループのための
CD-ROM

MANDA Mac User Group
Mac Front
Mac Farm
Milky Way
Musicians Square - Mac Musician
Shikoku Maniac & Apple Club
Syonan Macintosh Users Group
Yamanashi Macintosh User's Group

NOT FOR SALE

こととなります。恒例によりまして、第5会 IMF 総会の開催をご案内致します。

日時：4月18日（土）1992年

13:30 開場

14:00 総会

15:00 記念 Forum

17:30 解散

場所：盛岡市中央公民館

多数のご参加を、お待ちしております。



ACJ の CD-ROM

Apple Computer Japan, Inc. (以下 ACJ と略) が制作した、日本の User's Group のための CD-ROM が完成し、この度 IMF にも到着致しました。

この CD-ROM の中には、日本国内の User's Group (20 弱) から提供された、会報のデータ、Stack Ware や Original PDS をはじめ、商用BBS の日経MIX や Nifty Serve から提供された PDS、さらには制作者である ACJ からの提供による PDS や News Letter など盛り沢山の素晴らしいものです。

もちろん、IMF からは、数ある User's Group の会報の中でも、完成度

の高さと内容の良さで定評のある会報「林檎」のデータは勿論のこと、福田さん作成の HyperTerm、徳富さん作成の TypingTrainer などの PDS も入っています。

日本で最初に出版された UG のための CD-ROM に、我が IMF の作品が載っているということは、光栄だと思います。この CD-ROM は IMF の宝物ですね。

定期総会

早いもので、この号が皆様のお手元に届く頃には、IMF の第4会計年度 (1991 年度) も終りに向かっている

Inside

私の Mac Life	2
100物語	4
ブレインストーム	6
山の花	7
Macでお仕事	8
林檎ギャラリー	10
通巻目次一覧	11
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

私の Mac Life

... By 野村行憲

1986. 7 Macintosh Plus(1MB) 購入
 1986. 8 Excel を日本語版にアップデート
 1986.11 Apple Orchard (中島さんのBBS) 利用開始
 1986.11 CompuServe, ASCII-net 利用開始
 1986.12 漢字Talk 1.1 になる

1987. 2 日経MIX 利用開始
 1987.11 盛岡市役所BBS実験開始

1988. 2 漢字Talk 2.0 になる
 1988. 4 IMF設立総会開催
 1988. 9 初のStack: Mac in Talk LogBook発表
 1988.11 本家Meet the Mac の忘年会に参加
 1988.12 nVIRウイルスが侵入

1989. 2 会報「林檎」第一号発行
 1989. 2 Apple Computer Japan 表敬訪問
 1989. 4 第2回IMF総会開催
 1989. 8 漢字Talk 6.0 になる
 1989. 9 第1回 MMM 開催 (盛岡市、しぶど)
 1989.12 栗石の民宿「かまだ」でIMF忘年会

1990. 2 会報「林檎」Vol.2 に突入
 1990. 4 第3回IMF総会開催
 1990. 5 PhoneNet 導入
 1990. 9 熊本のMOC World に参加
 1990. 9 第2回 MMM 開催 (安比、H安比グランド)
 1990.10 ACJ のBBS:Mac Avenue 利用開始

1991. 2 Mac World Expo. 日本で開催
 1991. 2 日本のMac UG:代表者会議出席
 1991. 2 会報「林檎」Vol.3 に突入
 1991. 4 第4回IMF総会開催
 1991. 7 THINK-C による最初の作品を発表
 1991.10 第3回 MMM 開催 (安比、プリンセス)
 1991.12 ACJ が日本のUGのCD-ROMを制作

1992 さて、今年はどうなる年になるか??

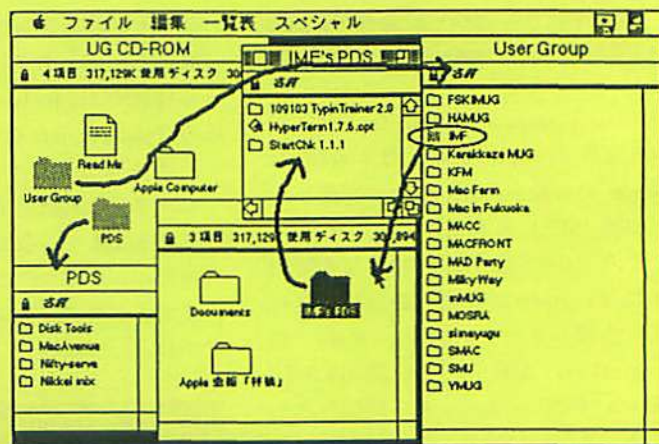
編集委員の皆さんは、大変記憶が良く、トボケていたにも拘らず、私がこのコーナーに登場していないことを覚えていて、遂に書くことになってしまいました。

とはいっても、御多分に洩れず何を書こうか迷った挙げ句期限が来てしまい、苦肉の策という訳で、最初は私がMacを購入してからの、Macに関連した代表的な出来事を一覧にしてみました。

おかげさまで、過去を振り返って見る良い機会になりました。



Mac Avenue をアクセスする Tele Finder の画面
 (ホストに接続してコンファレンスホールを開いた所)



ACJ が作成した UG のための CD-ROM
 (IMF の Folder と、PDS の Folder を開いた所)

私は6年前に購入した Macintosh Plus をそのまま愛用しています。なにしろ定価648,000円という高価なものだったので、最近の安価なマックと違って重厚に動作するのです。(スピードが遅いという適切な表現ではない) 毎日、貴重な時間を浪費する贅沢を味わえるのも、Plus ユーザの特権でしょう。

私的一天

朝、出勤するとまっ先にマックの電源を入れる。ムキ出しの100B HDDが、うなりながら回転を上げSystemが立ち上がってStartChkが笑顔で歓迎してくれる。...今日も快適なスタートだ。



StartChk が朝の挨拶

TabEdit で出張のレポート、資料のまとめを打ち込む。我がソフトながらスピードが早いので、自分のペースで入力でき快適だ。



軽薄短小エディタ?の TabEdit

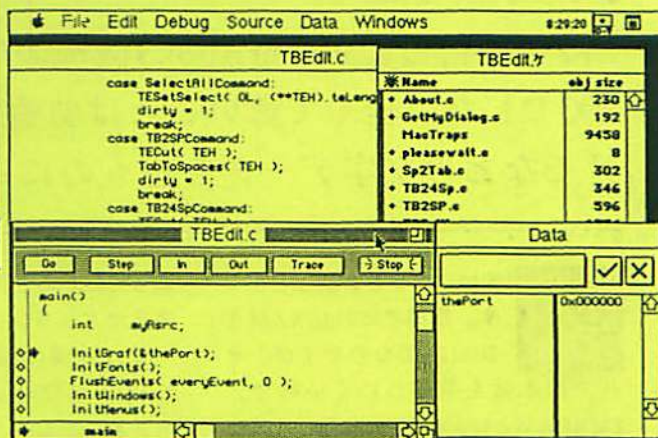
Excel で管理資料、見積などを処理し、データベースソフトで、住所録などを更新する。この住所録からデータを抽出し、ページレイアウトソフトでシステム手帳用の電話番号簿を出力したり、自動ダイアルのスタックを更新する。

NinjaTerm で junet に接続し、E-Mail を読み返事を送る。勿論、盛岡市のBBSもチェックする。Tele Finder で Mac Avenue に接続し、最新の情報が出ないかチェックする。...というように一日が過ぎて行く。

私の Mac は仕事の良きパートナーだ!

最近の楽しみ

昨年からはじめた、THINK-C のプログラミングは、年齢とともに衰え始めた私の知的好奇心を適度に刺激してくれて面白い。HyperCard で作る方がずっと簡単にできるので、スタックも作るが、趣味のプログラミングは楽しい。



楽しい? TabEdit のデバッグ

もう一つの楽しみ

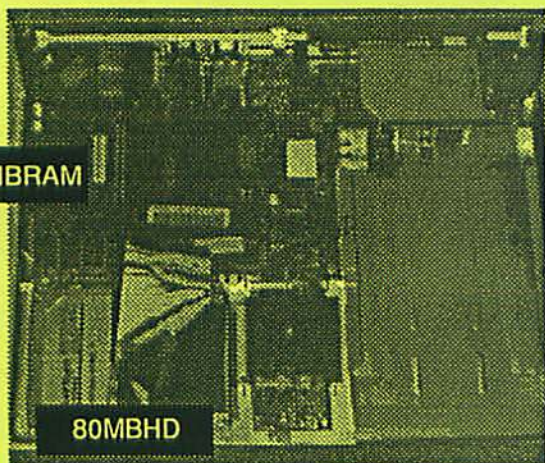
私の Mac Life で最も素晴らしいと思うのは、マックを通じて知り合った人達との交際である。IMFのメンバーは勿論のこと、日経MIX の面々、各地のUGの方々など、たまにしか逢えないのに、旧知の友人のように打ち解けて楽しく話しが出来るのも、マックの恩恵でしょう。With Mac forever!



Script and Edit

100物語

by 徳富 亘



いつでもMac
どこでもMac!
8MBRAMと80MBHDで
快適さグーンとアップ!

待ちに待ったPowerBook3機種の中から、自分が選んだのはPowerBook 100でした。軽くて薄いことは勿論ですが、意外に速いんです。外出先でメモなどの文字データを扱うのには必要にして十分なスピードです。

装

備のことからお話しします。標準では2MBRAMと20MBHDなのですが、それでは本領を発揮しにくいので、8MBRAMと80MBHDを内蔵しています。増設用6MBRAMはs-RAMを使っています。取付けは至って簡単です。

80MBHD はmade in JapanのQuantam製です。本体のビス穴が純正の物と

違っていたので、取付けステーに商売道具でドリリングをしました。

この装備の恩恵としては、RAM diskを3MB位確保して、そこにシステムフォルダとアプリケーションと文書ファイルを入れると、HDに全くアクセスしないまま作業することが可能になります。このことによりスピードも増しバッテリーも長持ちします。また

HDの容量もたっぷりなので、2種類以上のシステムフォルダを用途に応じて、用意しておけるので助かります。

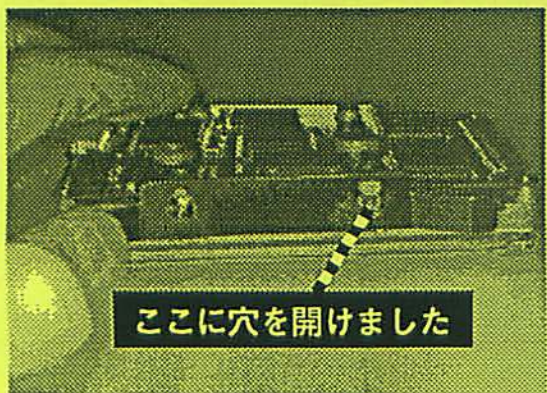
またPowerBook100と言えば、他のMacのSCSIに繋がると、外部HDとして使えることも特色ですが、データ転送等にはTopsを使っています。これが一番手間いらずだからで

す。SCSI ケーブルを使うのは、他人様のMacを自分のシステムフォルダから立ち上げる必要があるときだけですが、先日医療情報学会で会場のMacIIを使って実演発表したときには、この機能が大変役立ちました。

以下に便利なPowerBook100をさらに快適に使うための工夫をご紹介します。

トラックボールの工夫

PowerBook100のトラックボールは、ボールを支えるローラーがないため、指の脂がボールについてくると、どうしても滑りが悪くなってしまいます。ひとつの解決法は、しばしばボールについた脂をふき取ることですが、それでもそう滑らかになるわけではありません。



Quantam製 80MBHDと取付けステー

そこで自分は、田宮模型からでている、模型用のセラミックグリスをボールに少し塗って、軽くティッシュペーパーで拭くという方法で、とてもよい結果を得ています。このグリスは、PowerBook内部のプラスチックの支柱とボールの滑りは良くしますが、指とボールの摩擦は残してくれるという、優れたものです。しかし、少なめに塗るのがコツです。このトラックボールはニュートごと、簡単に交換できるのでそのうちサードパーティから、改良ユニットが売られるかも知れませんね。

caps lock キーの改造

PowerBookのcaps lockキーは、うっかり押ししてしまった、他のキーとまるで手触りが同じなので、自分はキーが押しにくくなるような工夫をしています。右端の連続写真を参照してください。

まず、caps lockキーを両脇からこじって外します。すると白いプラスチックの部品が見えますからそれも外します。中央部分にスプリングの役目をしている灰色のゴムの筒がありますから、それを抜き取ります。直径が2mm程度のアルミの針金を丸めてリング状にして、そのゴム筒の下においてから、全ての部品を元通りに組み立てます。このようにすると、ちょっと触った位では反応しませんが、力を入れて押すとcaps lockをかけることが出来ます。また、optionキーとctrlキーを判別するためにctrlキーも利きにくくしていますが、こちらも大変便利です。

キーボードショート コマンドの削除

キーボードショートコマンドも、うっかり間違えるとかなり面倒な事になり、スムーズな文字入力邪魔になります。それを解消するためResEditにより、よく使うワープロソフトのキーボードショートコマンドのほとんど

を使えないようにしました。

以上二つの工夫により、少々雑なキー入力をして、ほとんどつまずくことなくスイスイいけるようになりました。

カーソルの工夫

普通のMacで作業中にポインタがどこにあるかわからなくなったとき、マウスを小刻みに動かして、画面上で、小刻みに動くポインタを探す癖がついています。

しかし、PowerBook100の液晶は、ポインタを速く動かすと、見えにくくなってしまいますので、この技が使えません。

また明るいところでは、バックライトがなくても文字が見えるので、節電の為にバックライトを消して使うことがあります。しかし、こうするとカーソルの位置が、さらにわかりにくくなります。中でもパー型カーソルが、一番認識しにくくなります。そこでResEditを使ってカーソルリソースを太くしてみました、ところがExcelでは太くなるのですが、肝心のワープロソフトでは太くしてくれません。またカーソルを大きくするBigCursorという便利なアプリケーションもありますが、PowerBookの画面の端の方でバグがおこってしまいます。そこで、現在のところは、カーソルの位置を見つめ続けるEycBallsというinitを使うのが一番効果的なようです。

最後に

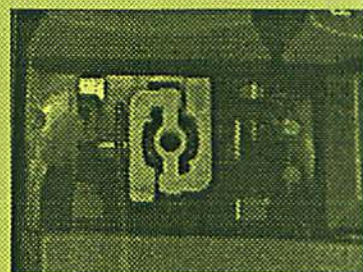
PowerBookの足が折れやすいという評判ですので、自分は入れ歯用の樹脂を埋め込んで補強しましたが、メイク等で売ってるエポキシパテを埋め込んでしまうのも大変効果的だと思います。

以上、自分の小さな工夫が少しでも皆さんのお役に立てると幸いです。

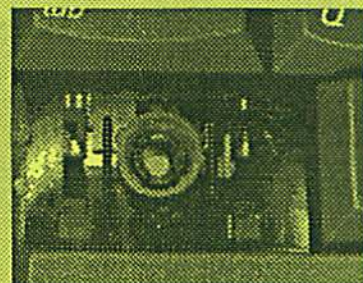
(終)



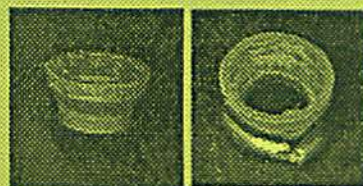
キーをやさしくこじって外します



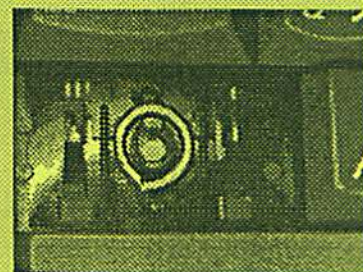
白い部品を外します



灰色のゴムスプリングを外します



下部の細い部分に合うようにアルミの針金を丸めます



丸めた針金を一番底の部分に置いてから、全部の部品を元通りに組み込めば、それでOK!

BRAINSTORM

アクセラレータ取り付けの記

高性能のMacが安く手に入る時代に、68000のアクセラレータなど何をいまさらという感もありますが、Plusに愛着を感じ、末永く使っていきたいと考えている人も多いはず。そんなPlusユーザにお勧めなのがブレインストームアクセラレータです。今回このアクセラレータを自分のPlusに取り付けましたので、以下にその顛末をご報告致します。

1.ブレインストームとは

米国Brainstorm社製のMacPlus専用アクセラレータです。クロックが8MHzのオリジナルCPUの上に新たに16MHzの68000をのせ、従来のPlusの2倍強の処理速度を実現しています。アクセラレータといってもそう大げさなものではなく、ICソケット2個を含めた部品点数が、わずか6個というたいへん簡単な構成のアクセラレータです。国内では(株)計測技研が販売元となっている「Fast Plus+」と同じものです。

2.取り付けを決意するまで

去年のMacExpo/Tokyoでさっそく購入された白石さんからお話をうかがってから気になっていたのですが、雑誌のコピー(Plusが11、LCと同等のスピードに!!)と値段の安さにつられて取り付けを決意しました。計測技研に納期を問い合わせ、いざPlusを送ろうとした矢先、秋葉原エレクトリックパーツでさらに安い(29,800円!)ブレインストームを見つけてしまったのです。Fast Plus+と同じ製品ということだったのでいちにもなく購入しました。

3.いざ取り付け

さて、いざ取り付けとなるとさすがにおじけづいてしまい、Plusを前に半

日述いました。なにせ自分では一度もケースを開けたことがないので。結局は、どうせ保証もへったくれない中古で買ったPlusだあと開き直り取り付けに踏み切りました。おそるおそるメインボードを取り出してマニュアルの作業手順を確認します。マニュアルは簡潔で図解がたいへん解り易く助かりました。取り付け作業は以下のような手順となります。

1. 作業がしやすいようにSIMMをはずす。
2. 2個のROMとソケットの間にアクセラレータ安定動作のためのCapacitorを入れる。
3. TSMチップをBBAチップ(アクセラレータ専用チップ)に交換する。
4. オリジナルCPUの上に64ピンソケットをかぶせハンダ付けし、16MHzCPUをソケットに差し込む。
5. クロックジャンパーをハンダ付けする。

あとはSIMMを元に戻し、ハンダ付けした箇所を点検してから組み立て直し、付属のディスクで立ち上げるとBRAINSTORMのスタートアップ画面が現れます。たったこれだけのことなのですが、私の場合、TSMチップの取り外しがうまくいかず困りました。ICの足をニッパーで切断し、残った足を基盤から抜き取り、穴をきれいに通るようにしてからソケットをハンダ付けするのですが、この残った足が基盤からなかなか抜けてくれないのです。マニュアルにはハンダ吸い取り器を使うように書いてあるのですが、私が5年前に買った安物の吸い取り器では役に立たなかったのです。へたをするとハンダゴテの熱で基盤のパターンが剥離してしまう恐れがあるので冷汗ものでした。その他については特に問題なく作業を終えましたが確認しなが

らゆっくり作業したため、結局3時間以上もかかってしまいました。

4.さて性能は

改造前にデックをとっていなかったため、数値的な比較はできませんでしたが、実際に使ってみた感じでは、予想以上に軽やかに動いてくれるようになりました。私が普段使っているアプリケーションでは今のところ問題はでていませんが、音が割れてしまうときがあるのは残念です。月刊マックパワー1991年11月号のパフォーマンステストによれば、ノーマルPlusの2倍強、LCと同等という結果がでています。私としては、StripIIやGol-Golの美女が軽やかに動いてくれるようになっただけで十分感動的でした。

5.最後に一言

私の場合は、安く買って自分で取り付ける道を選びましたが、安全性や今後のサポートを考えると多少高くなって国内の販売元から購入し、ついでに取り付けも依頼した方が良いと思います。それに工具を持っていない場合も、一式そろえるとなると費用も馬鹿になりません。それでも自分で取り付けてみたい!という方は、あくまでも自分の責任において行ってください。また、一度取り付けてしまうと取り外しが困難ですし、他のアクセラレータのようにスイッチで切り放すこともできませんので注意が必要です。自分で取り付ける場合は、取り付け後、「Macintosh Repair&Upgrade Secrets」などを参考に、画面サイズや電圧のチェックをしておくことをお勧めします。今回ハードに手を出したおかげで、ページ色の小さなコンピュータがますます愛しくなっていました。

Written and Edited by



春を待つ気持ちは誰でも同じですが、山の花の無い寂しい秋冬を過ごし、4月になって雪が解け、日差しに温りを感じると、そわそわして来て、いても立ってもいられなくなります。まだ山には雪が多く、止むを得ず田舎道のフクジュソウを探し、撮影していた4年程前の春に、低い山でイワウチワを見つけました。林の急斜面にツヤツヤした光沢の有る葉っぱがそここちに沢山有り、白っぽいピンクの花がボ

山の花

佐藤護人



ツリボツリと可愛らしく咲いていました。これを見つけて感激し、ロープを体に巻き付けて滑り落ちるのを必死でこらえ、夢中で撮影しました。林の中なので暗く、濃いピンクの花を探しましたが、思った様にはなかなか良い写真が撮れませんでした。今年もロープを持って行き、木漏れ日の差すのをじっと待って、イワウチワとシュランの傑作に挑戦するつもりでいます。



Macでお仕事

PIXL DiO が連れてきた Macintosh

企業導入事例紹介

テレビ岩手の場合

by 照井 芳夫

「テレビCM」をMacで制作するようになりましたので、導入経緯と機器構成そしてこれからの課題を紹介させていただきます。

現在のところ最終出力は「PIXL DiOによる紙への出力」です。「テレビ放送をやっているのにどうしてビデオ出力を使わないのか？」との声が聞こえそうなのでその辺りから説明することとします。

導入経緯

承知のように民放テレビは広告収入で成り立っています。広告は「CM素材」と呼ばれる、15秒又は30秒（希に1分とか2分という長い物もある）の短い時間に表現されます。全国規模の大スポンサーになれば有名タレントや有名スタッフを動員し、1本数千円もするCM素材を制作しますが、地方の場合は仲々そういう訳には行きません。大体が新聞の折り込み広告程度の予算で出稿されますのでとてもその様な「CM素材」制作費が有りません。そこで地方の民放では社内にスタッフを擁し販売促進活動の一環として「CM素材」を制作しています。そのスタッフはニュースの項目や人名などを表示する「テロップ」と呼ばれるカードや、スタジオ番組で使われる「フィリップ」と呼ばれるA3サイズ位のカードなども制作しています。

話を「CM素材」に戻します。社内でサービスとして作成するCMは「静止画CM」と呼ばれ、媒体の形式は35mmのボジスライドでした。現在も社外から持ち込まれる「静止画CM」はスライドです。スライドを制作する工程

は、先ずB4程度の厚紙に原画を描き、それを撮影して現像所に送り、翌日上がってきたものを切り離して規格物のマウントにはさんで完成となります。1969年の開局時から営々として行われてきましたが、この方法には大きく2つの弱点が有ります。

その一つは、スポンサーの希望で写真やパンフレットが原画の一部として持ち込まれ、勿論商標や社のマーク、或はロゴタイプも持ち込まれます。となるとこれらの素材を一枚の画面上に合成しようとする、その内のどれかのサイズに合わせ、他の素材は拡大、或は縮小という事になります。当然基準になるのは写真やパンフレットです。他の素材は特殊なカメラで撮影してサイズを調整したり、専門家の手によりバランス良く描き加えられます。従って完成した原画は大きさがまちまちになり、保管管理が大変になります。

もう一つの問題は、スライド現像に要する時間です。可能な限りぎりぎりの日までセールスをしたくなるのが人情で、1日の違いは大きいのです。

又話が横道にそれますが、テレビで局間やプロダクションとの間で番組やCMを交換する媒体は「日本民間放送連盟技術基準」で定められています。基準で定められている35mmスライドやオベークカード（12.5cm×10.0cmの紙、厚さは印画紙や官製はがき程度）であれば専用のプロジェクタとカメラが対向した「テレシネ」と呼ばれる装置で連続自動撮影が出来ます。原画をライブカメラで撮影する方法では正しいフレーミングで撮影する為に大変な手間がかかるのです。

制作者が意図した品質を保ちつつ能率良く作業する為に規格化が必要な訳です。



今から丁度4年前季節も今頃でした。CM制作担当者と「カラーコピー機を導入すれば、その拡大・縮小機能を使って、大きさの問題と現像時間の問題を一気に解決出来るのではないか」という検討を開始しました。木津屋本店の杉村さんに初めて会ったのはこの仕事がきっかけでしたし、Macを木津屋さんが販売していることも、IMFの結成もこれが縁で知る事となりました。

当時販売されていたカラーコピー機で早速実験をしましたが、残念ながら満足な結果にはあと一歩及びませんでした。しかし何れは使用に耐えられる製品が発表されるだろうとの期待から気長に待つことにしました。

待つことしばし。その間に私はMacユーザーとなり、IMFにも入れて頂きました。やがてPIXL DiOの発売を聞き早速テスト。結果は上々という事で1990年4月導入となりました。ここで社内制作の「静止画CM」は35mmスライドから、「オベークカード」になったのであります。

所期の目的は思惑通りに達成され万事はめでたしめでたしと進めば今回のMac導入は無かったのですが、世の中うまく行かないというか、うまく行ったというか、新たな問題が発生しその解決の為にMacの登場となったのであります。

それはPIXL DiOの拡大縮小の倍率が50%~200%の為、一度で規定のサイズまで縮小出来ずに、縮小コピーを2度繰り返すという事態が度々発生しました。PIXL DiOはデジタルコピー機ですから、2度コピーでは走査線の

干渉によるモワレの発生で画質は劣化しました。

もう一つの不幸な（結果的には幸せな）出来事が、一昨年（90年）の年末に起こりました。テレビ岩手には毎年正月に「テレビ年賀状」という企画商品があります。これはあらかじめ用意した15~20種位の原画にスポンサーの社名文字を合成して、CM素材制作費を安く上げた企画です。35mmスライドの時代は「原画」と「文字版下」を用意し、社外の業者に発注してプリズム合成撮影をしていましたので時間も費用もかかりました。そこでその年はPIXL DiOの文字合成機能を使い文字合成を処理しました。PIXL DiOには文字合成機能が有りますがこの機能を使う為には、原寸同志の等倍コピーしか出来ず、ズームは出来ないのです。ところが原画は少しでも画質を良くしようという配慮から2倍近い大きさで作成されていましたので、仕方無く原画を一度縮小コピーした物を原画に見立てて合成コピーをしました。実際に家庭のテレビで見ても良く見ると気が付く程のモワレが出ましたが、そのまま放送しました。しかし、制作担当者と私は顔から火が出る様な思いで、放送期間が終わるまで小さくなっていました。

以上が「CM素材」制作ツールとしてMacが導入され、めでたく「Macでお仕事」となった経緯です。

導入までは更に10カ月を要するのですがその間は、ハード・ソフトの情報集めに費やしたので、詳細は割愛します。

機器構成

1. CPU Mac IIci
キャッシュメモリボード付
2. メモリ 1MB SIMM 4枚
4MB SIMM 4枚 計20MB
Maxima 使用 15MBで使用中
3. ハードデスク
内臓 純正 160MB
外付け C&E 200MB

4. ビデオカード
SuperMacスペクトラム/24PDQ
アクセラレータ付フルカラー
5. ディスプレイ AppleColor 13" RGB
BelleView 19" Color
6. プリンタ HP DeskWriter C
7. コピー機インターフェース
IPU-10Sメモリアル実装 4MB
200dpi でA3相当
400dpi でA5相当

使用状況

使用ソフトは「Adobe Photoshop 日本語版1.07」の1本だけで始めました。サイズ調整を伴った切り貼りが主な仕事なので編集は当面これ1本でやっています。更に都合の良いことにPhotoshopはPIXL DiOのIPU-10Sを経由して、画像の入出力も出来るのです。文字は使い慣れた別の装置から紙に出力した物をスキャンして使っています。練習は約1週間。練習と言っても実際に使うCMで時間的に余裕があり、初歩的な編集で済みそうな物を見つけて、私も一緒に試行錯誤を繰り返しながら制作しました。第1号作品は制作担当者のデザインで私が編集したものになりました。

12月初めから使い出し、前述の「テレビ年賀状」は期待通りに処理し、別注のテロップも20枚以上制作されるというおまけも付き、予定を大きく越える成果が得られました。

最近では「FreeHand」も使い出しましたが、こちらはまだカラー出力出来ませんので、「PS-IPU」というポストスクリプトインターフェースの導入も検討中です。

今後の課題

この稿の最初で触れた様に「TVなのにどうして紙に出力？」という問題に真剣に取り組まなければなりません。TVもMacも「RGBカラー」の世界。それに対してPIXL DiOは「CMYKカラー」の世界。紙経由では鮮やかな色を持って行けないのです。「ビデオ

出力ボード」を買えば120万円程でビデオ出力は得られるのですが、社内全体のCM業務の流れに組み込む為には、完成した「CM素材」運搬方法と他局への回しの方法を考えなければなりません。VTRなんか使用したら安いCMでは無くなってしまいます。

又、CM制作担当者はポスターやチケットのデザインも担当していますので、早くも印刷の版下作成にも使いたいと言いつけています。来年の今頃には実現しているでしょうか。

後書き

こうして原稿を書いていると、この4年間に実に好運な出会いがあったことを改めて感じました。

私達の仕事の悩みをまるで助けるかの様に、キャノンが実用に耐えるカラーコピーを売り出し、そのタイミングに合わせた様にMacの環境が飛躍的な発展をし、そのカラーコピーとMacが同じ販売ルートに乗るという好運。キャノンとキャノン販売がこういう時代を予見しMacを販売しながら自社の新製品に結び付けた結果、私の会社はこれだけの恩恵を受けたのです。

もう一つの好運な出会いは、ほかでも無い「若手Macの会」の皆さんとの出会いです。

この二つの出会いがなければ、会社のMac導入は未だに無く、私個人のMacLifeもたぶん昨年あたりの細々とした孤独なスタートだったと思います。改めて会員の皆さんに感謝申し上げます。

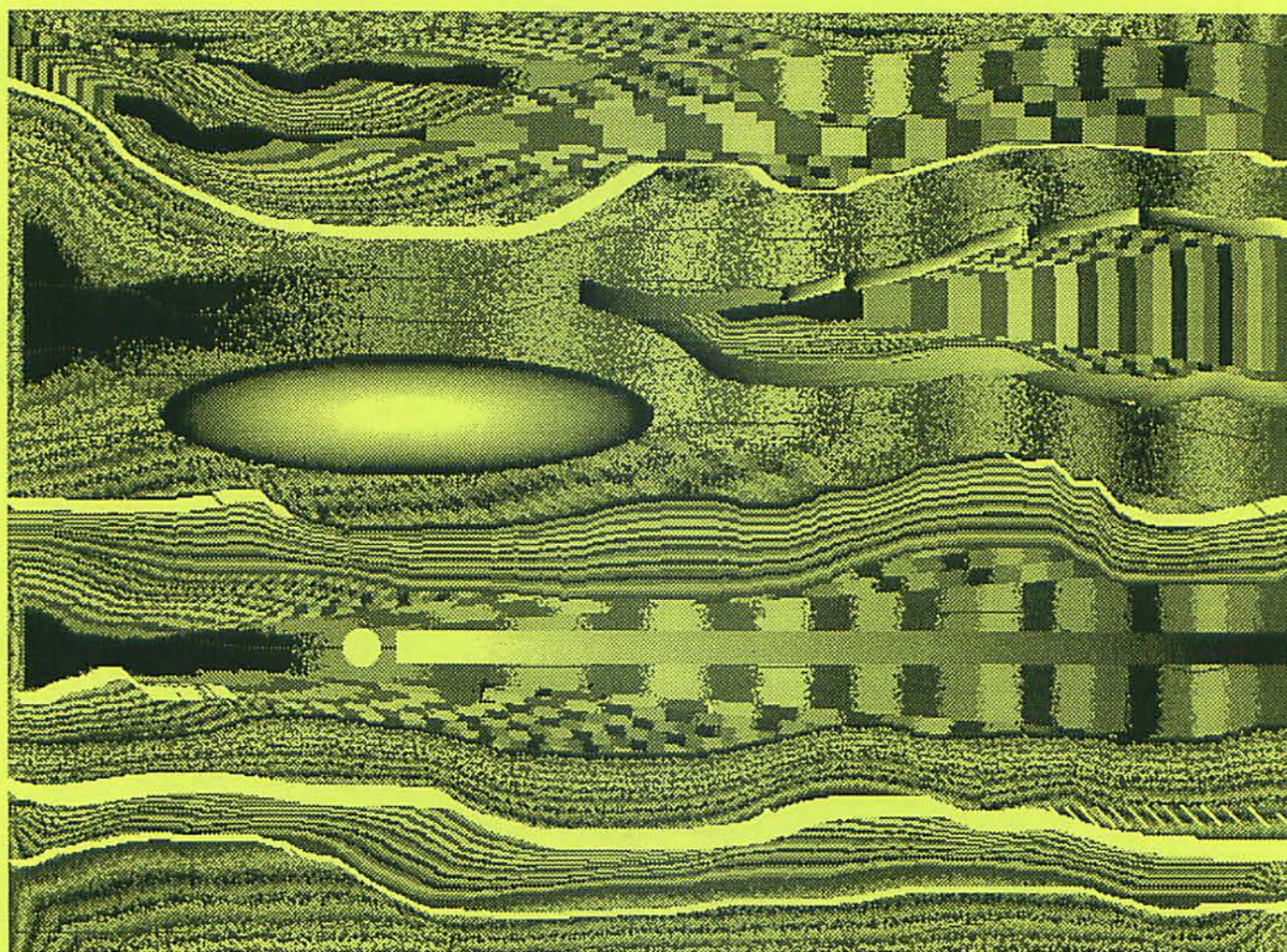
私は「面白くない事をひたむきにやっている内に面白くなるのがプロの仕事だ」と思っていたのですが、社内で同じ様に感じる人が増えてきたことも大きな喜びであります。

作品例. 2



記・編集

林檎ギャラリー



1992-2 Masao Segawa

by 瀬川昌男

林檎

岩手Mac友の会

3周年記念特集

Vol.3, No.5 1991.10.19

Iwate Macintosh Functi



通巻目次一見

折角、一年に一度東北のMacユーザーが一集り機会をできるだけ実りの多いものとするため、世話人一同知恵を絞って目次を編みあげました。少々お断りしたい点もいくつかありますが、この通巻目次を、お気取りの人がよりした、世話人へ伝えていただくようお願い致します。

有り、(内容はBBSに掲載)の会で、協議した結果、IMFとし、開催することに決定し、次のよ書きました。

ユーザー(および予備軍)の、M/W Expoを、ユーザー会、目的は、お互いの情報交換であり、会員以外に多数に対して、宣講活動をするのは、不用である。ACJ または他のユーザーからの支援要請には協力を惜しまず、東京や九州のユーザー会では、お祭りとして積極的にイベントとして盛り上げていて嬉しいものになりそうです。

豪華なゲスト

今年の MMM には、アップルコンピュータジャパンからユーザーグループサポートの青山さんが参加するの

VOL.1 NO.1

巻頭言	野村行憲	1
会の歩み		2
Macと私	田中慶司	2
大忘年会を開催		3
きままなコラム	中島 順	4
自己紹介	菅原健蔵 照井芳夫	4
	松倉拓次 本館康司	5
	吉田新二	
	大河原 清 斉藤 武	6
	高橋 晃	
A Fountain of Youth?	Richard L. Lammers	5
茶房	佐藤護人	7
茶色の小瓶	福田健次	8
From BBS	佐々木幸司	10
Nifty Now	香城孝磨	12
余計なお世話	野村行憲	13
会員名簿		13
編集後記		13

VOL.1 NO.2

巻頭言	野村行憲	1
Apple Computer Japan		2
特集 アクセラレータ	徳富 亘	3
English Column	Richard L. Lammers	5
自己紹介	熊谷朋也 菅野卓矢	6
	伊崎誠一	
	香城孝磨 荒木健次	7
山の花	佐藤護人	7

きままなコラム	中島 順	8
林檎ギャラリー	瀬川昌男	10
私のMac Life	本多健一郎	11
Macと私	佐々木俊光	12
	望月善次	13
Mix Now	福田健次	14
茶房	藤村 洋	15
From BBS	佐々木幸司	16
余計なお世話	野村行憲	18
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.1 NO.3

巻頭言	野村行憲	1
私のMac Life	香城孝磨	2
Mac図書館	白石 隆	4
Meet the Mac	熊谷朋也	6
English Column	Richard L. Lammers	6
林檎ギャラリー	瀬川昌男	8
茶房	松倉拓次	9
きままなコラム	中島 順	10
山の花	佐藤護人	12
Mix Now	福田健次	13
PC-VAN Now	照井芳夫	14
林檎ギャラリー	白石 隆	15
From BBS	佐々木幸司	16
余計なお世話	野村行憲	18
IMF掲示板		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.1 NO.4

巻頭言	野村行憲	1
私のMac Life	徳富 亘	2
私の日本語環境	根本聡彦	3
	徳富 亘 吉田新二	4
	野村行憲 照井芳夫	5
Meet the Mac	三浦吉範	6
English Column	Richard L. Lammers	7
林檎ギャラリー		8
茶房	福田健次	9
NeXTが日本にやってきた	荒木健次 徳富 亘	10
山の花	佐藤護人	12
林檎ギャラリー	高橋 晃	12
Archi Net Now	高橋 晃	14
会員だより		16
余計なお世話	野村行憲	18
IMF掲示板		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.1 NO.5

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	照井 章	2
	村川 壽	3
English Column	Richard L. Lammers	3
MMM特集		4
林檎ギャラリー	瀬川昌男	8
茶房	福田健次	9
私のMac Life	谷口和美	10
山の花	佐藤護人	12
きままなコラム	中島 順	14
林檎ギャラリー		15
BBS NOW	佐々木幸司	16
余計なお世話	野村行憲	18
IMF掲示板		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.1 NO.6

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	浅野恵治	2
	高島浩一郎	3
English Column	Richard L. Lammers	4
How to scan	徳富 亘	5
IMF's PDS	野村行憲	6

林檎ギャラリー	瀬川昌男	8
茶房	前田修悦	9
私のMac Life	猿橋浩昭	10
山の花	佐藤護人	12
東京通信	荒木健次	13
盛岡BBS NOW	佐々木幸司	14
きままなコラム	中島 順	16
余計なお世話	野村行憲	18
お知らせ		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.2 NO.1

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	Evelyn Harry	2
	渋谷 誠	3
English Column	Richard L. Lammers	4
林檎ギャラリー	瀬川昌男	5
IMF's PDS	福田健次	6
山の花	佐藤護人	8
茶房	照井芳夫	9
私のMac Life	白石 隆	10
盛岡BBS NOW	佐々木幸司	12
きままなコラム	中島 順	14
林檎1周年特集	徳富 亘	16
余計なお世話	野村行憲	18
掲示板		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.2 NO.2

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	和田政男	2
	菅沼まゆみ	3
林檎ギャラリー	瀬川昌男	4
English Column	Richard L. Lammers	5
	Dick Harry	5
HyperTerm顔末記 (前編)	福田健次	6
山の花	佐藤護人	8
茶房	佐々木幸司	9
私のMac Life	浅田昌彦	10
盛岡BBS NOW	佐々木幸司	12
きままなコラム	中島 順	14
HyperTerm顔末記 (後編)	福田健次	17
余計なお世話	野村行憲	18
掲示板		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.2 NO.3

巻頭言	徳富 亘 野村行憲	1
Meet the Mac	関口厚光	2
IMF's PDS	徳富 亘	4
山の花	佐藤護人	6
English Column	Dick Harry	7
林檎ギャラリー	瀬川昌男	8
茶房	大河原清	9
私のMac Life	兼平信一	10
盛岡BBS NOW	佐々木幸司	12
きままなコラム	中島 順	14
林檎ギャラリー	徳富 亘	16
東京通信	荒木健次	17
余計なお世話	野村行憲	18
掲示板		19
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.2 NO.4

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	安保淳一	2
	渡辺浩志	3
IMF's PDS	佐々木幸司	4
山の花	佐藤護人	6
English Column	Dick Harry	7
林檎ギャラリー	瀬川昌男	8
茶房	佐々木治男	9
私のMac Life	佐藤護人	10
盛岡BBS NOW	佐々木幸司	12
楮円のボールを追って...	高橋 晃	14
45M Removable HD	徳富 亘	15
使用報告		
人間学講座-番外編	福田健次	16
余計なお世話	野村行憲	17
MMM開催案内		18
会員名簿		19
編集後記		19

VOL.2 NO.5

巻頭言	野村行憲	1
MMM特集		2
MMMメッセージ		4
MMM寄書き		7
林檎ギャラリー	瀬川昌男	8
茶房	佐々木治男	9
私のMac Life	菅野卓矢	10

山の花	佐藤護人	12
English Column	Dick Harry	13
Marathon奮戦記	徳富 亘	14
HEADWAY	照井芳夫	16
余計なお世話	野村行憲	17
掲示板		18
編集後記		19
会員名簿		19

VOL.2 NO.6

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	佐々木健	2
	遠山明人	3
山の花	佐藤護人	4
English Column	Dick Harry	5
Mac and big screen	白石 隆	6
私のMac Life	根本聡彦	8
林檎ギャラリー	佐々木幸司	10
東京通信	荒木健次	11
盛岡BBS NOW	佐々木幸司	12
余計なお世話	福田健次	14
会員名簿		15
編集後記		15

VOL.3 NO.1

巻頭言	野村行憲	1
Meet the Mac	青山真紀子	2
茶房	福田健次	3
山の花	佐藤護人	4
男もすなる	佐藤雅子	5
ICS NET	藤村 洋	6
私のMac Life	関口厚光	8
林檎ギャラリー	瀬川昌男	10
Meet the Mac	長土居正弘	11
執筆者一覧	佐々木幸司	12
余計なお世話	吉田新二	14
会員名簿		15
編集後記		15
掲示板		16

VOL.3 NO.2

巻頭言	野村行憲	1
林檎栽培記	福田健次	2
山の花	佐藤護人	3
MACWORLDEXPO		4
/TOKYO		
私のMacLife	遠山明人	8
フェアエルハリーズ	Dick Harry	10

林檎ギャラリー	瀬川昌男	11
みちのく一人旅	和田政男	12
余計なお世話	徳富 亘	14
会員名簿		15
編集後記		15
掲示板		16

VOL.3 NO.3

巻頭言	野村行憲	1
IMF総会	徳富 亘	2
山の花	佐藤護人	4
東京通信	荒木健次	5
アクセス	白石 隆	6
私のMac Life	照井芳夫	8
English Column	Jane Kublick	10
林檎ギャラリー	瀬川昌男	11
分科会	福田健次 高橋 晃	12
会員名簿		15
編集後記		15
掲示板		16

VOL.3 NO.4

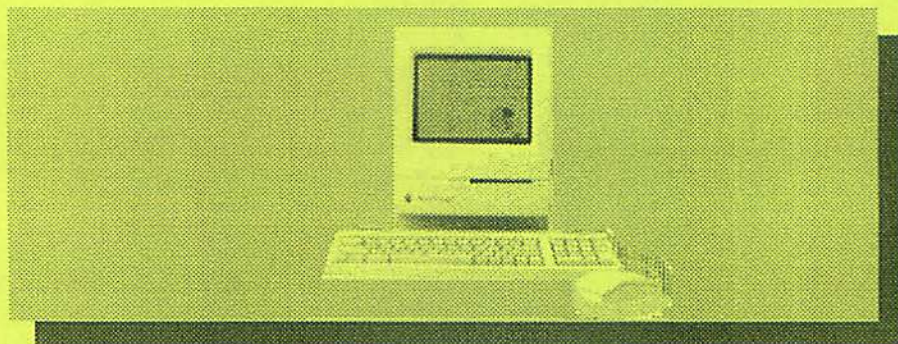
巻頭言	野村行憲	1
私のMac Work	小野世利子	2
山の花	佐藤護人	4
ウルトラ7がやってきた	福田健次	5
CAD/CAM	高橋 晃	6
私のMac Life	山本 淳	8
私のMacは使わせない	野村行憲	10
林檎ギャラリー	瀬川昌男	11
How to DTP	照井芳夫 徳富 亘	12
余計なお世話	佐藤護人	14
会員名簿		15
編集後記		15
掲示板		16

VOL.3 NO.5

巻頭言	野村行憲	1
私のMac Life	佐々木幸司	2
山の花	佐藤護人	4
茶房	福田健次	5
訪中記	関口厚光	6
MMMその場しのぎ		8
English Column	Jane Kublick	10
オレゴン戦記	菅野卓矢	11
How to DTP	照井芳夫	12
林檎ギャラリー	瀬川昌男	13
余計なお世話	吉田新二	14
会員名簿		15
編集後記		15
掲示板		16

VOL.3 NO.6

巻頭言	野村行憲	1
私のMac Life	佐々木明宏	2
山の花	佐藤護人	4
茶房	佐藤 顕	5
MMM特集		6
Apple Talk活用術	野村行憲	10
SYSOPインタビュー		11
余計なお世話	高橋 晃	12
林檎ギャラリー	瀬川昌男	13
Power Book見聞録	熊谷朋也	14
会員名簿		15
編集後記		15
掲示板		16



編集後記



編集会議にPowerBook100を持って参加しています。本当に快適です。自分のMacLifeが思った以上に変わりつつあります。

徳富



祝！三周年。よくここまで。 佐々木 (幸)



今回は思いがけない指名で構想がまとまる迄時間がかかりました。やっと作文したら長過ぎて所定のページ数にまとめるのに又苦勞しました。次号は休みたいな。

照井



いやあ、ついに「私のMacLife」の番がまわってきてしまいました。都合3頁の担当というプレッシャーのおかげで、早目に完成できました。ふっふっふ余裕々々。
(いつもこうだと良いのだが)

野村



最終編集会議原稿が届かず。来週、編集、印刷と忙しくなりそう。

杉村



そろそろ山の花の写真の蓄えが少なくなってきました。今年は沢山撮りだめしなくてはと思っています。

佐藤



今回初参加の遠山さんです。お忙しい中頑張ってくださいました。うっかり編集後記をいただく事を忘れてしまっておし訳ありません。

(徳富)



いつもお忙しい白石さんです。この次に期待しております

(徳富)

会員名簿

Harry, Evelyn U.S.A
Harry, Dick U.S.A
Kublick Jane 盛岡市

Harry, Evelyn U.S.A
Harry, Dick U.S.A
Kublick Jane 盛岡市

Lammers, Richard L. U.S.A

青山 真紀子 盛岡市
浅田 昌彦 和賀町
浅沼 清智 花巻市
浅野 恵治 盛岡市
荒木 健次 柏市
安保 淳一 盛岡市
伊崎 誠一 川越市

石田 安盛岡市
伊藤 光司 花巻市
伊藤 俊也 盛岡市

井上 督盛岡市
遠藤 幹也 盛岡市
大石 伯前沢町

大河原 清 盛岡市
小笠原 英彦 盛岡市
沖野 覚二戸市

小沢 徹盛岡市
小野 世利子 本吉町
小野 寺雄大 陸前高田市

小柳 敏和 郡南村
桂川 茂彦 盛岡市
金井 理釜石市

金浜 誠己 二戸市
兼平 信一 盛岡市
金山 慎孝 水沢市

菅野 研一 宮古市
菅野 卓矢 盛岡市
木村 栄子 盛岡市

工藤 聡滝沢村
工藤 利悦 郡南村
工藤 道範 盛岡市

順谷 朋也 盛岡市
香城 孝康 久慈市
小松 寿夫 北上市

斎藤 岳盛岡市
斎藤 秀一 盛岡市
斎藤 武盛岡市

斎藤 怜盛岡市
佐々木 明宏 盛岡市
佐々木 幸司 盛岡市

佐々木 健 矢巾町
佐々木 俊光 胆沢町
佐々木 治男 矢巾町

佐々木 文雄 紫波町
佐々木 光夫 大槌町
佐々木 裕 盛岡市

佐々木 古則 盛岡市
佐藤 顕盛岡市
佐藤 雅子 盛岡市

佐藤 学宮守村 盛岡市
佐藤 護人 盛岡市
猿橋 浩昭 盛岡市

淡谷 誠盛岡市
島貫 和弘 盛岡市
白石 隆郡南村

菅原 健藏 盛岡市
菅原 忠雄 花巻市
杉村 栄一 盛岡市

鈴木 是光 盛岡市
鈴木 卓石 島谷町
鈴木 裕之 盛岡市

瀬川 昌男 盛岡市
関口 厚光 盛岡市
戦場 博和 盛岡市

高島 浩一郎 盛岡市
高橋 和良 盛岡市
高橋 晃盛岡市

高橋 浩幸 盛岡市
高橋 真知子 盛岡市
武元 伸次 盛岡市

田中 慶司 東京都
谷口 和美 盛岡市
谷藤 幸夫 八戸市

千田 昭宏 北上市
塚野 弘明 盛岡市
美野 万里子 盛岡市

寺田 明功 野辺地町
照井 芳夫 花巻市
遠山 明人 盛岡市

徳富 互花巻市
中居 賢司 盛岡市
中島 順柏市

長土居 正弘 盛岡市
西島 光茂 盛岡市
根本 聰彦 札幌市

野村 行憲 盛岡市
橋本 彰盛岡市
原田 聡盛岡市

日比野 利彦 郡南村
平野 三千代 盛岡市
深沢 謙盛岡市

福田 健次 盛岡市
藤村 洋盛岡市
藤原 和彦 盛岡市

本多 健一郎 盛岡市
米谷 則美 盛岡市
真鍋 貞治 盛岡市

松倉 拓次 郡南村
三浦 一之 盛岡市
三浦 利康 浄法寺町

三浦 吉範 盛岡市
三浦 光男 盛岡市
宮 義裕矢巾町

村上 誠一 盛岡市
村上 宏文 盛岡市
村上 弘行 盛岡市

村川 寿千葉市
望月 善次 盛岡市
本館 康司 花巻市

森 貞吉盛岡市
山田 真希 盛岡市
山本 淳盛岡市

横手 登盛岡市
吉田 新二 盛岡市
吉田 実盛岡市

吉村 弦盛岡市
和田 政男 矢巾町
渡辺 浩志 能代市

例会案内

3月21日(土)
14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館

総会案内

4月18日(土)
13:30 開場
14:00 総会
15:00 記念Forum
17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館
畳のお部屋です。

駐車場が少なく
て混みあいますの
で、お早めにお越
しく下さい。



「林檎」19号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
NinjaTerm	NISUS
PageMaker	QuarkXPress
StreamLine	SuperPaint
TurboJip	TurboWriter

等で作ったものをPageMakerでま
とめLaserWriter, Microlineでプリ
ントしました。

1992/2/15 第19号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品

